

2022
冬号

園芸文化

みんなの広場

第34号 2022年12月5日発行

公益社団法人 園芸文化協会

〒113-0033

東京都文京区本郷 1-20-7 安藤ビル 202号室

TEL 03 (5803) 6340 FAX 03 (5803) 6341

E-mail: enbun@soleil.ocn.ne.jp

http://www.engeibunka.or.jp

小笠原左衛門尉亮軒前会長 退任記念講演

江戸の園芸はおもしろい



日にち 令和4年11月3日(木・祝) 会場 日比谷コンベンションホール

令和4年6月16日の定時総会で、小笠原会長が会長を退かれました。退任にあたり、皆様へのあいさつを兼ね、記念講演会を開催いたしました。

退任記念講演ということもあり、会員はもちろん、会員以外の方からも多数申し込みがあり、当日は130名の方がご参加され会場内は静かな熱気に満ちあふれていました。

講演会は当協会の三好世紀会長のあいさつで開会し、ご来賓の株式会社NHKエデュケーショナル代表取締役社長 荒木美弥子様からごあいさつをいただき、その中で、一昨年、小笠原前会長が「第71回日本放送協会 放送文化賞」を受賞されたことをご披露いただき、お祝いの言葉を頂戴しました。



あいさつをする小笠原前会長



NHKエデュケーショナル代表取締役社長 荒木様



講演される増田先生

第1部：特別講演

「園芸文化の手紙から-後水尾天皇宸翰消息と小野蘭山の書状-」

愛知東邦大学客員教授・公益財団法人永青文庫評議員 増田 孝

テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」でお馴染みの増田孝先生による特別講演は、講演会に因み花のことが書かれた手紙による古文書の読み方についてでした。後水尾天皇、小野蘭山、それぞれ時代と立場が異なる二人の手紙を

題材として古文書の読み方とそれぞれの手紙の解説をいただき、古文書を読む楽しさをお話いただきました。

第2部：退任記念講演

「江戸の園芸はおもしろい」

公益社団法人園芸文化協会前会長 小笠原左衛門尉亮軒

これまで度々お話いただいておりますが、1年12カ月の江戸の園芸に

ついて浮世絵などをスライド上映してお話しいただきました。江戸時代は戦乱が絶えて平和な時代が長く続いたことで、園芸文化も大きく花開いて色々な植物の品種改良が盛んに行われ、珍奇な植物を探し収集されるなど園芸の楽しみ方が多層的になった時代であり、庶民の生活を描いた浮世絵にも片隅に鉢植えが描かれ、植物が生活と密着していたことがわかりました。

第3部：対談

「古文書から読み解く日本人の園芸への情熱」

増田先生、小笠原前会長のお二人に再度ご登壇いただき、当協会の須磨佳津江常務理事の進行で対談が行われました。

講演で取り上げた2通の手紙は花についてのもので、当時手紙は唯一の通信手段でしたので、下書きをせずに自分の思いのままを書いており、



須磨
常務理事



小笠原
前会長



増田
先生

書き手個人の人柄が表れています。そういう意味で手紙は古文書の中でも面白い存在です。江戸時代の浮世絵は知識や生活場面を視覚で捉えることができるもので、そこに添えられた文章は解説であり、それを読むことで理解がさらに深まります。

対談は興味深いお話ばかりでいつ

までも聞いていたかったのですが、時間の都合もあって終了となりました。今回の講演と対談で、園芸は近代に発達したものではなく、古代から連綿と続いていることが認識でき、我々は園芸という旅の途中にある旅行者の一員なのではないのかと思いました。



小笠原常理事作の立花。
会場内に飾られ彩を添えた



須磨常務理事の進行で行われた対談。演壇に掲示された両古文書は、一般財団法人雑花園文庫収蔵品

新宿御苑菊花壇展 観菊会 2022

日にち：令和4年11月12日（土）

会場：新宿御苑

講師：（一財）国民公園協会 新宿御苑
菊班 丸山秀諭

「新宿御苑菊花壇展観菊会」が爽やかな秋空のもと、開催されました。今回は教室での講義はなく、菊花壇展の観賞のみ行いました。

講師にお迎えした（一財）国民公園協会の丸山秀諭さんに、解説していただきながら菊花壇を観賞しました。丸山さんは新宿御苑で菊栽培を担当されている菊作りのスペシャリストです。見どころや各花壇の展示の決まりごと、花壇ができるまでの仕立て方や管理方法などを、解説していただきました。また、実際に菊栽培に従事されているからこそその苦労話や失敗談など、裏話も楽しくお話しされていました。

菊花壇展を観賞した後は、非公開の菊栽培所を特別に見学させていただきました。栽培所の様子を見ながら、菊花壇にお目見えするまでの菊の栽培法や管理について、そしてどのように選抜されるのかなど、紹介していただきました。菊花



懸崖作り花壇



一文字菊 管物菊花壇

壇展の期間中に最高のパフォーマンスが発揮できるよう、伝統の技術を駆使しながら、丹精込めて菊作りが行われていることに、あらためて感銘を受けました。

菊栽培所の 見学



写真提供：（一財）国民公園協会

講師（新宿御苑 菊班）

まるやま ひでつく
丸山秀諭

生花店勤務、フラワーアレンジメント講師を経て、（一財）国民公園協会新宿御苑に入職。以来11年、菊班にて大作り菊を担当



みんなの緑学

日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 後期 ツワブキ

日にち：10月25日（火）

会場：日比谷図書文化館4階スタジオプラス

講師：（有）ダイカツプラント・ツワブキ
育種生産 山本茂広
常務理事 奥 峰子

静岡県袋井市でツワブキを育種・生産されている山本茂広さんに、庭園や商業施設の壁面緑化や花壇の植栽事例と、山本さんが作出した品種をお見せいた

だきながら、ツワブキの魅力や育て方のコツなどをお話していただきました。山本さんが作られたツワブキは、姿も名前も趣きがあり個性的で、春や秋に「葉芸」を見せる芸達者。また、山本さんより参加者にツワブキの苗のプレゼントがありました。皆さん「葉芸」が見られるのを楽しみに、一生懸命育てられることでしょう。山本先生のツワブキ



愛に満ちた熱い語りにも、一同ツワブキファンになってしまいました。

連載

育てるだけが園芸じゃない

花を上手に撮る

ちょっとしたコツ 4
(最終回)



園芸研究家・写真家 福井万利子

写真はフィルムからデジタルに移り、一眼レフからミラーレス一眼の時代になり、今や「スマホカメラ」の時代です。ポケットやカバンの中に入れて、気軽に持ち歩けるので、メモ帳代わりに使用している人も多いです。

そんなスマホカメラの特徴は、広範囲にピントが合うためにゴチャゴチャした写真になりがちです。主役の花を浮き上がらせて背景を整理するとステキな写真に変身します。



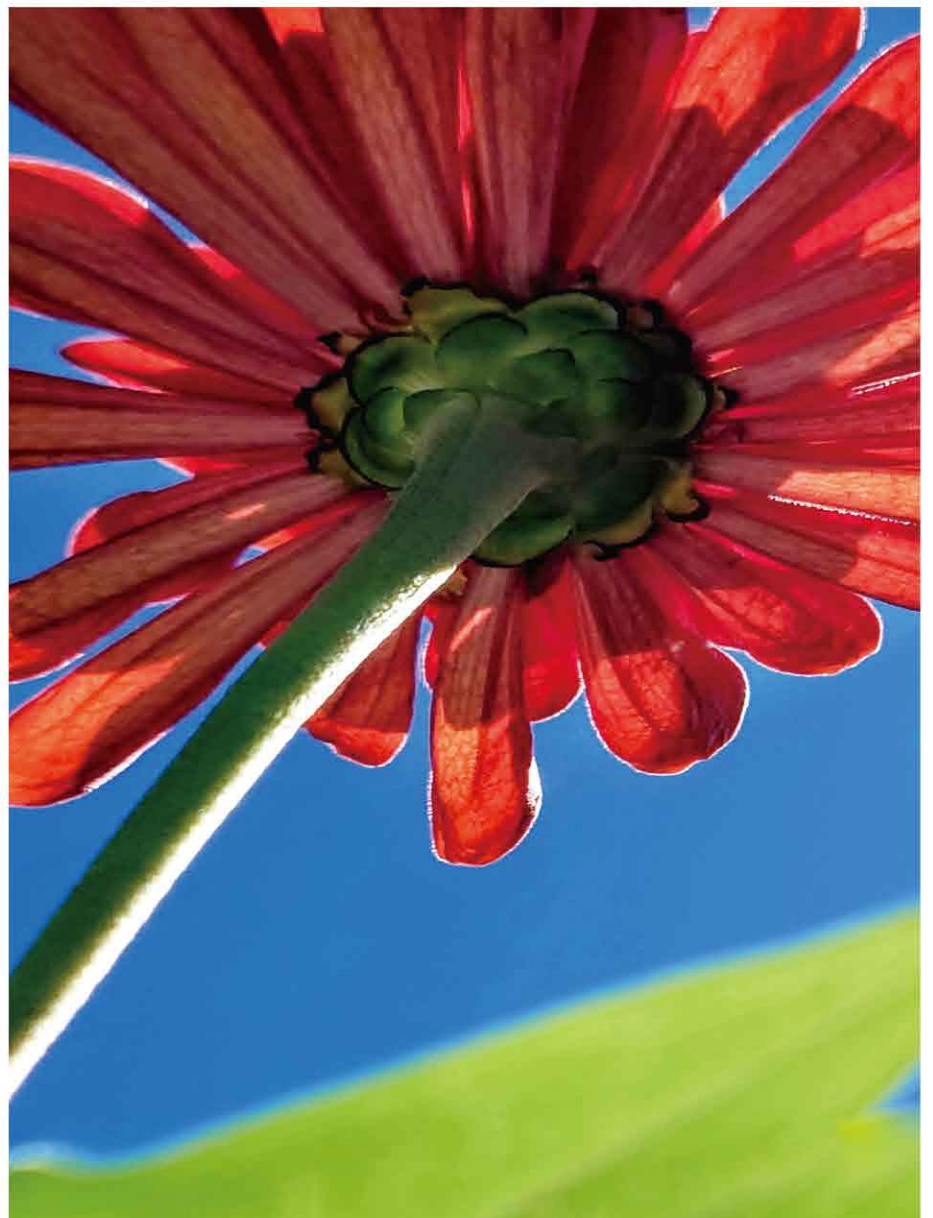
オキザリス・パーシカラー SONY Xperia 1 III f/2.8 1/200s ISO 64 14.50 mm



ストロビランサス・パープルプリンスの葉脈 (葉表)
SONY Xperia 1 III f/1.7 1/125s ISO 250 5.11 mm

福井万利子 (ふくい まりこ)

園芸研究家、写真家、オルガニスト。Mari Garden 草花研究室主宰。ローランドミュージックスクール講師。京都府向日市緑化園芸教室を10年間担当。園芸教室や講習会、園芸雑誌の執筆を通じて園芸の楽しさを伝えている。タキイ種苗の情報誌『園芸新知識 はなとやさい』など執筆多数。京都市在住。



ジニア・プレシオーサ レッド SONY Xperia 1 III f/1.7 1/2500s ISO 64 5.11 mm

スマホカメラ

背景をボカす方法

ピントが合うギリギリの距離まで被写体に近づきます。スマホのカメラが被写体に近づけば近づくほど背景がボケます。

簡単！これだけです。



玉ボケ写真の作り方

玉ボケ写真とは、背景にボケた丸い輪がある写真のことです。玉ボケは「点光源」をわざとピントをはずしてボカすことで作れます。

まず、周りの景色の中でキラキラしている所を見つけます。例えば、木漏れ日、輝く水面、金属やガラス

の反射、太陽が当たって光っている葉っぱ、イルミネーションなどです。背景にキラキラしている点光源を遠く離してもってきて、手前の花にピントを合わせると玉ボケができます。

簡単！さあ、やってみましょう！



背景をボカす クリサンセマム・コケード
SONY Xperia 1 III f/1.7 1/250s ISO 100 5.11 mm



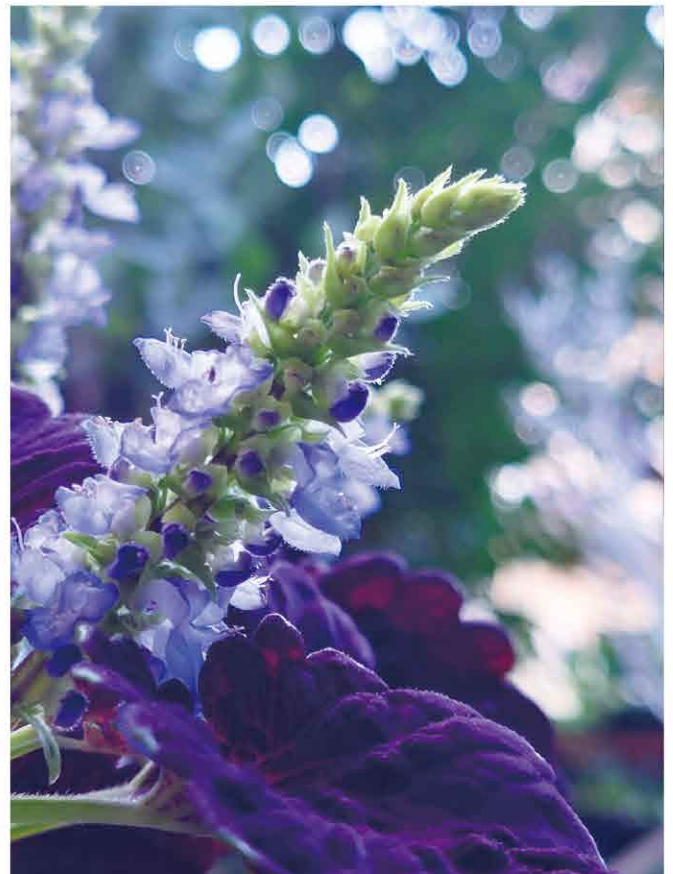
背景をボカす ピオラ・ブラッシュストローク & アゲハチョウ
SONY Xperia 1 III f/1.7 1/250s ISO 64 5.11 mm



玉ボケ写真
ジニア・ドリームランド
コーラル &
ツマグロヒョウモン
SONY Xperia 1 III
f/1.7 1/250s ISO 80
5.11 mm



玉ボケ写真
ケイトウ・ソル ゲツ
コグリーン
SONY Xperia 1 III
f/1.7 1/500s ISO 64
5.11 mm



玉ボケ写真 コリウス・ブラックドラゴン
SONY Xperia 1 III f/1.7 1/60s ISO 125 5.11 mm

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2022-2023

秋バラを楽しむために 剪定後の注意点と管理

日にち：9月10日(土)

会場：東京港埠頭株式会社会議室

講師：京成バラ園園長 村上敏

ボランティア参加者のスキルアップのための講習会の第3回。NHK「趣味の園芸」でもおなじみの村上敏さんに、午前中に花壇で行った剪定実習のふりかえりも兼ね、剪定の極意を教えてくださいました。例えば、立派で大きな

花を咲かせたければ、夏のうちに細かい枝を切り、元気で太い枝に養分を集中させればよいのだそう。「どの枝をどの位置で切るかは、どう育てたいかによって決める。」という剪定のセオリーがよくわかりました。

講習会はボランティアに参加していなくても受講可能です。2月にも村上先生にお越しいただき、春バラを楽しむための剪定についてお話いただ



きます。詳しくはP8をご覧ください。残席わずかのためお申込みはお早めに。

おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)



シンボルプロムナード公園内「情熱のローズガーデン」(東京都江東区)のボランティア活動報告です。



《8月20日》

夏も疲れ知らずもの花壇です。この日は花がら摘みと除草を行いました。この時期にしては雑草が少ないなと思ったら、春先まだ小さいうちにしっかり雑草を取り除き、日ごろからこまめに土をかいているからなのだそうです。また、「ハサミで切る」「手で折り取る」「セルフクリーニング(花がら摘み不要)の花も、花芯が黒いと花壇に雑味が出るので、あえて花がらを摘む」など、花の特徴にあわせた花がら摘みのやり方も杉井志織さんから教わりました。

《9月10日》

花壇に秋の気配が漂い始めました。この日は、京成バラ園園長の村上敏さんにバラの剪定を教わりました。「情熱のロー

ズガーデン」のバラは、まわりの草花と調和するように、下からどっしりとした形に仕立てていきます。花芽の位置が揃うよう、上の柔らかい芽を手で摘み取ったり、枝がごちゃごちゃしたところにハサミを入れ、スッキリさせました。

《10月8日》

花壇もすっかり秋色です。この日は花がら摘みと地面の清掃を行いました。この時期から、生育のスピードが遅くなるため、花がら摘みはごく浅めに。また、こ



このところの雨風で花壇に落ち葉がたまっていたので、きれいに取り除きました。放置しておくと臭気や腐敗が発生し、病気の原因になりかねません。これも大事な作業です。

杉井さんの説明は経験に裏打ちされているので説得力があります。今回も惜しみなくテクニックを伝授してくれました。

Webメディア

花人日和(かじんぴより)

杉井志織 | 心を彩るガーデニング

好評連載中

<https://serai.jp/kajin>





ギボウシ VS ツワブキ

このシリーズも最終回となりました。花は1年365日のうち短いものでは1週間足らず、長いものでも数週間咲くというのが一般的です。それに対して葉は落葉のものでも3~4月から11月ごろまで、常緑のものは周年楽しむことができます。

葉の美しさに魅せられてついつい買ってしまうギボウシ。ヨーロッパの有名な庭園でも大活躍しているアジアが誇るリーフプランツです。しかし、たくさん植えてしまって後悔するのは冬。地上部がなくなってしまうと庭はがら~んとしてしまいます。

対して江戸時代から日本人を魅了し



ギボウシ

ているツワブキ。常緑ですが、葉の斑や季節によって現れる色や模様など奥の深い芸を見せてくれます。

どちらも大好きな私ですが、ギボウシは鉢に植えて落葉したら表舞台からは移動、ツワブキは地植えに、というのが私のセオリーです。特に冬、雪景色を楽しむにはやはり常緑でフォルム



春に黄の覆輪が美しいツワブキ '金環'



ハラン、ツワブキ、ヤブランの雪景色

の美しい葉に限りません。どちらも日焼けしない場所を選んで育ててください。



室内に取り入れた枝垂れの盆梅「藤牡丹」が清香を放ち、心を豊かにしてくれている。

ウメは万葉時代既に我国へ中国から渡来し薬用、食用そして観賞用として

各時代に珍重され、多くの人々に楽しまれ愛された。

さて今回ご紹介する「梅品」の著者は、江戸時代中期の本草学者、松岡玄達著、宝暦十年京都で刊行されたウメの図譜であり、品種解説書である。上下二冊、上巻に主として白色花を、下巻に紅色と雑色を集録する。

記載品種白梅類は次の通りである。早梅 江梅 照水梅 消梅 緑尊梅 黄香梅 鶴頂梅 官城梅 玉蝶梅 杏梅 冬梅 三品梅 臥梅 重葉梅 淡青梅 尋来梅 鶯舌梅 清見寺 銀梅 浅香山 冬咲八重 軒端梅 垂枝梅 嶋梅

西行梅 八梅 飛梅 六代梅 海棠梅 以上二十九種、

下巻紅梅種には、鴛鴦梅 麗枝梅 六辨梅 紫梅 寒紅梅 八朔紅梅 江南出羽大輪 朱梅 碁盤梅 未開紅 熊梅 鈴紅梅 匂梅 匂紅梅 楊貴妃 奈良緋梅 櫻紅梅 冬至梅 花布梅 難波梅 東福寺 叡山紅梅 行幸 縮緬紅梅 その他雑色種として、黄梅 黄金梅 常梅 五色梅 二色梅 墨梅 以上三十一種

梅類として蠟梅 雀梅(ニハウメ) 喜梅(ニハサクラ) 繫梅 楊梅(ヤマモモ) 茶梅(サザンカ) 裏梅(ムクゲ) 金梅(ビヤウヲトギリ) 石梅(ウミウメ) 等の記載がある。

例えば、早梅 和名はやざき梅譜(中国苑大成著)に日く早梅花直脚梅に勝る吳中春晚に二月始て爛漫独り比、品冬至前に於己に開く故に名を得(以下略)そして、○達按るに、早梅信濃梅より花大にして早開く故に実を結び難し 中梅にして白花単弁也又早梅一種冬咲とて梢に三輪開き春に至て尽く開くものあり 又群芳謙果部に四月熟するものを早梅と名くとあり是実の早く熟するを云 梅譜の早梅は花の早く開くを云。



お知らせ

■ 新入会員のご紹介 ■

《個人会員》 敬称略

功刀あおい（東京都杉並区）

好きな花：春蘭、福寿草、ムクゲ、ドウダンツツジ、ワレモコウ
どうぞよろしくお願いたします。

事業委員会より

当協会が監修する花壇の情報です。

●日比谷公園

奥峰子常務理事がデザインと管理を担当する第一花壇には、パンジーのナチュラルシリーズ、ピオラのソルベシリーズなどを植えました。第二花壇の四隅のバラ花壇は、ボランティアグループ「日比谷ローズ」が冬の間もこまめに手入れをしています。

●新宿御苑

丸花壇（風景式庭園内・大温室前）と三角花壇（中央休憩所付近）のデザインを奥常務理事が担当し、ピオラやワスレナグサ、キンギョソウなどの春の草花と、チューリップの球根を植えました。冬から春先まで長く楽しめます。

講座委員会より

《セミナー実施報告》

●9月10日（土）

「おもてなしガーデンボランティア（情熱のローズガーデン）」講習会（3）秋バラを楽しむために 剪定後の注意点と管理 講師：村上敏氏（京成バラ園園長）参加：26名

●9月16日（金）

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 前期（3）農薬の正しい知識と安全性 講師：望田明利（理事）参加：27名

●10月25日（火）

日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 後期 ツワブキ 講師：山本茂広（ダイカツプラント・ツワブキ育種生産）・奥峰子（常務理事）参加：32名

プレゼント

大沢節子さんの押し花写真を集めた「2023年カレンダーブック」を10名様にプレゼントいたします。【応募方法】FAXまたはメールに、カレンダーブックプレゼント希望・住所・氏名をご明記のうえ、園芸文化協会事務局までお申し込みください。当選者の発表は、厳正なる抽選の上、カレンダーブックの発送をもって代えさせていただきます。【締切】12月22日（木）



●10月28日（金）

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 後期（1）農薬の正しい知識と安心安全な使用方法 講師：望田明利（理事）参加：32名

●11月12日（土）

新宿御苑菊花壇展観菊会 2022 講師：丸山秀諭氏（新宿御苑菊班）参加：16名

《セミナー実施予定》※予告なく変更お一よび中止になる場合もございます。

●日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 後期 竹笹（タケ・ササ）

12月7日（水） 時間：13:30～16:00 講師：柏木治次（蓼科笹類植物園理事）・奥峰子（常務理事）会場：日比谷図書文化館4階スタジオプラス 参加費：2,500円 定員：50名

●もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 後期

（2）11月18日（金）「冬季に発生する病害虫の原因とその予防法について」

時間：13:30～16:00 講師：望田明利（理事）会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）参加費：各2,000円 定員：各30名

●3月5日（日）チューリップの来た道～人気の花にまつわる知られざる話～

時間：13:30～15:30 講師：川崎景介（理事・マミフラワーデザインスクール校長）会場：マミフラワーデザインスクール（東京都大田区）参加費：2,500円 定員：50名

●「おもてなしガーデンボランティア（情熱のローズガーデン）」講習会 2022-2023

（4）2月4日（土）春バラを楽しむために剪定後の注意点と管理 講師：村上敏氏（京成バラ園園長）時間：13:00～15:00 会場：東京港埠頭株式会社社会議室 参加費：会員1,500円 一般2,000円

編集長より

過日、協会誌「園芸文化」の取材で練馬区立牧野記念庭園を訪問しました。ここは牧野博士が大正15（1926）年から亡くなられるまでの31年間暮らした住居と庭園跡地です。もうすぐ住み始めから100年となりますが、周りの風景は大きく変わり牧野博士が住んでいた頃の面影はありません。この間、庭園も植栽が変化したようですが、それでも庭園に立つと往時の武蔵野の雰囲気を感じられます。ひっそりとした庭園は訪れる人に安らぎを与えてくれます。ぜひお訪ねください。

南場浩一



ミヨシグループ

INNOVATE FOR BEAUTY & TASTE



公式YouTubeチャンネル



株式会社ミヨシ

M&B Flora

都市で生き物と暮らす

高品質なギフトを贈る

和の心を感じる

植物に託してみませんか



石本屋園芸

〒460-0005

名古屋市中区東桜2-18-13

Tel: 052-931-8701

名古屋園芸株式会社

両方のよさを「いいとこ取り」

「ベチユニア」×「カリブラコア」

ビューティカル®

Beautiful Cal



美しく、お手入れ簡単
暮らしをあでやかに彩ります